研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラムシーズ育成タイプ 事後評価結果

体系的課題番号 : JPMJTR192G

採 択 年 度 : 令和元年度

分 野:第2分野

研究開発課題名: 導電性機能材料の合成に向けた高機能プラズマ装置の開発

プロジェクトリーダー

______ : 住友理工株式会社

所 属 機 関

研究責任者: 豊田浩孝(名古屋大学)

評価結果の総合所見

本課題は、流体により減圧を生成し液体に対してプラズマ処理を行うプラズマ処理装置とこれを使用して低コストの金属ナノ粒子製造の技術開発を行うものである。

概ね目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。イノベーション創出が期待できる。

銀ナノ粒子生成のプラズマ処理装置と、インク化、配線技術は、開発過程で課題をクリアして目標を 達成でき、中核技術は確立できたと評価する。事業化に対して競合とのベンチマーク、特にコスト比較 などを確実に実施し、出口に向けた開発計画を立案して実用化を着実に推進していただきたい。

以上